

観光地魅力度調査報告書

令和2年10～12月

～兵庫県全域版～



公益社団法人ひょうご観光本部

Hyogo Tourism Bureau



調査目的	観光地にて旅行者の動機や周遊ルート、観光費用等の顧客データを収集、地域ごとの訪問客の属性等の傾向を分析し、地域における観光商品やサービスに対する評価を踏まえ、今後の対策に活かすことを目的とする。
調査地域	有馬温泉、宝塚市、姫路市、赤穂市、城崎温泉、湯村温泉、丹波篠山市、淡路島
調査対象者	調査地域を訪れた観光客、宿泊客
サンプル数	2,581
調査手法	QRコードを媒介としたインターネット調査
調査期間	2020年10月～2020年12月

《居住地》

- ・観光客・宿泊客の7割が県内と大阪府からの訪問者で、マイクロツーリズムの傾向が続いている。

《旅行目的》

- ・スポーツ・レジャー体験や文化体験の割合が1割にも満たない状況であり、滞在時間を延ばし、宿泊につなげるためには、体験型コンテンツの開発が不可欠である。

《リピート率・消費額》

- ・2万円以上の割合が4割を占め、GoToトラベル等の効果が継続していると考えられる。
- ・2万円以上の価格帯の約半数を占めるのは、年代では50代・60代、リピート率では3回目以上となっている。

《地域への期待度・地域の満足度》

- ・前回の調査結果と同様に、体験・アクティビティへの期待度と満足度が4割未満と低い。

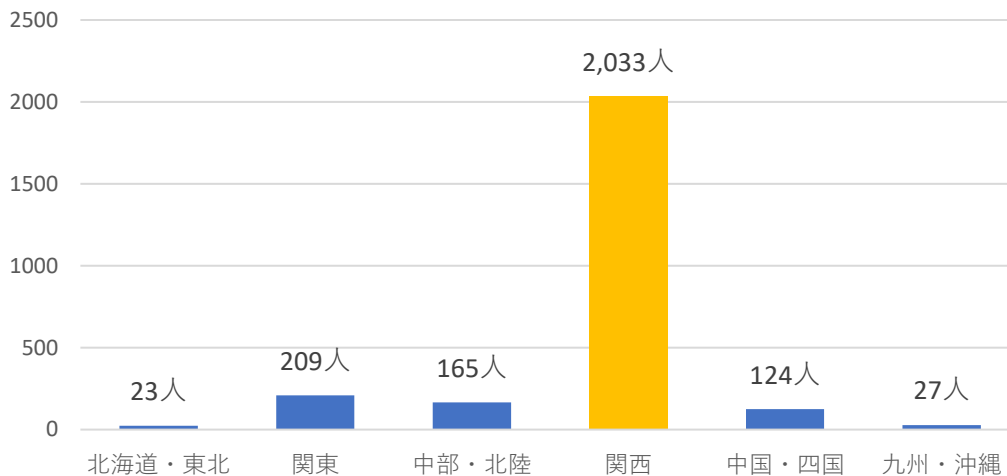
回答者属性

居住地



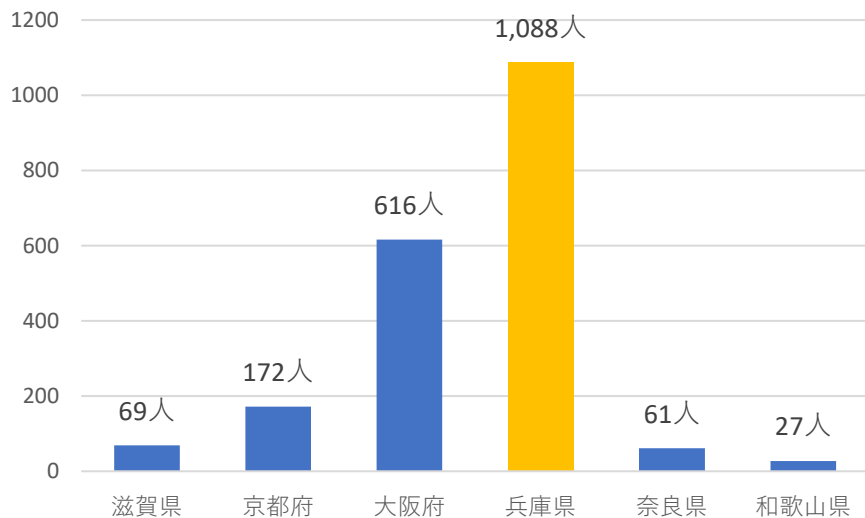
居住地

N=2,581



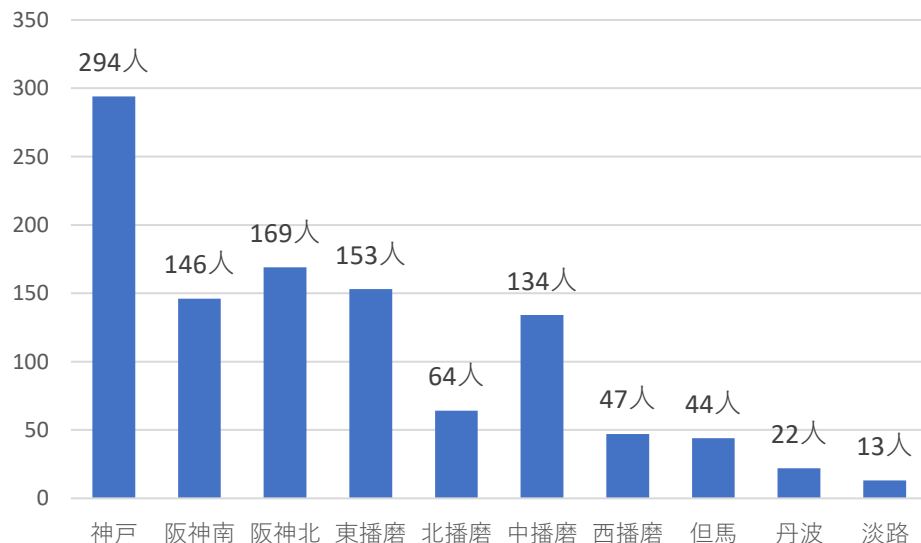
居住地（うち関西）

N=2,033



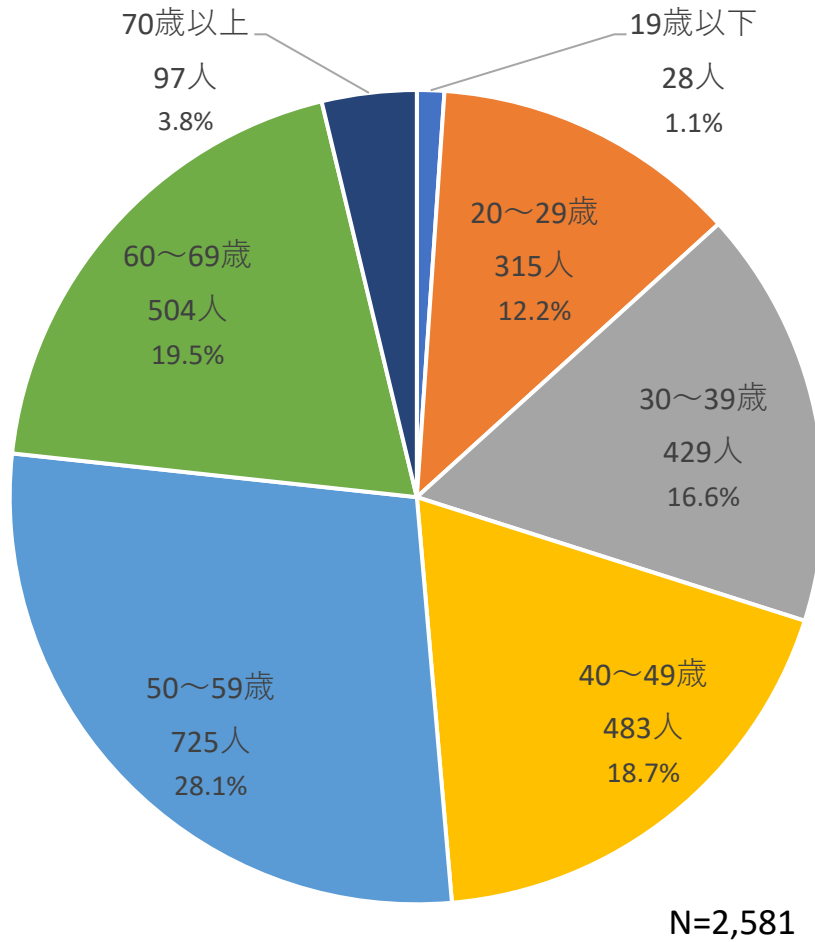
居住地（関西のうち兵庫県内）

N=1,088

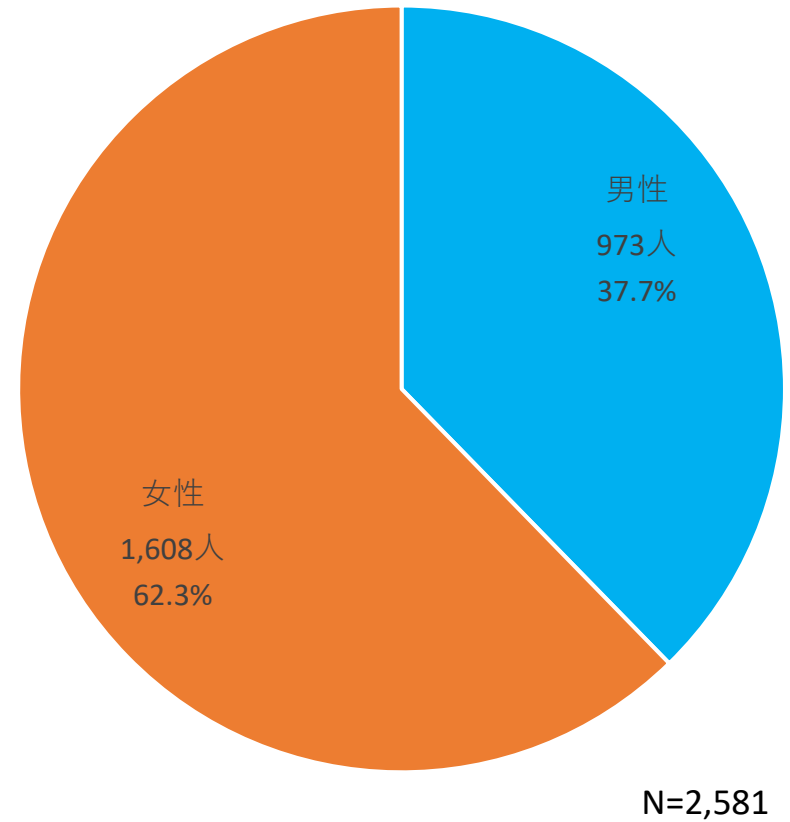




年齡



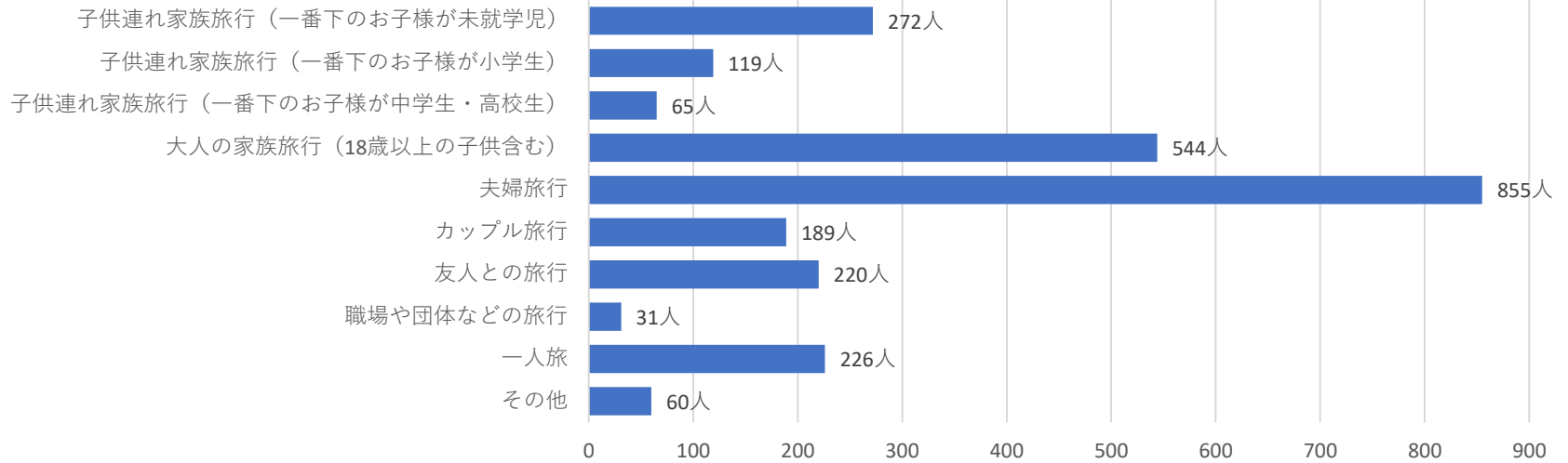
性別



同行者・回答場所

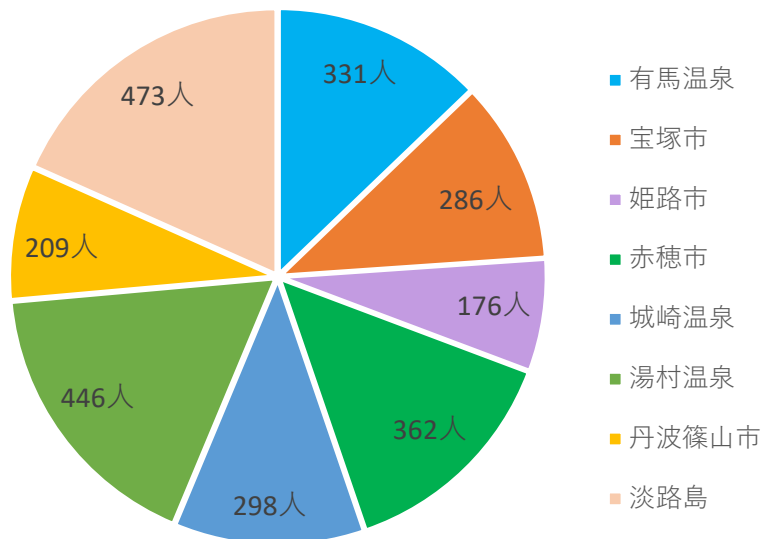


同行者



N=2,581

回答場所



N = 2,581

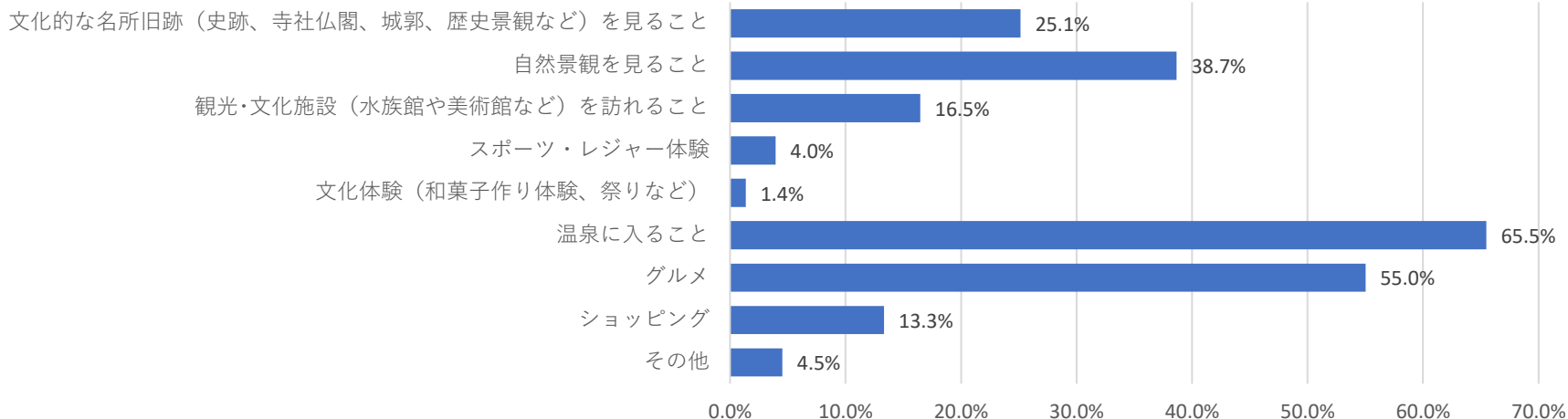
調查結果

旅行目的・体験したコンテンツ



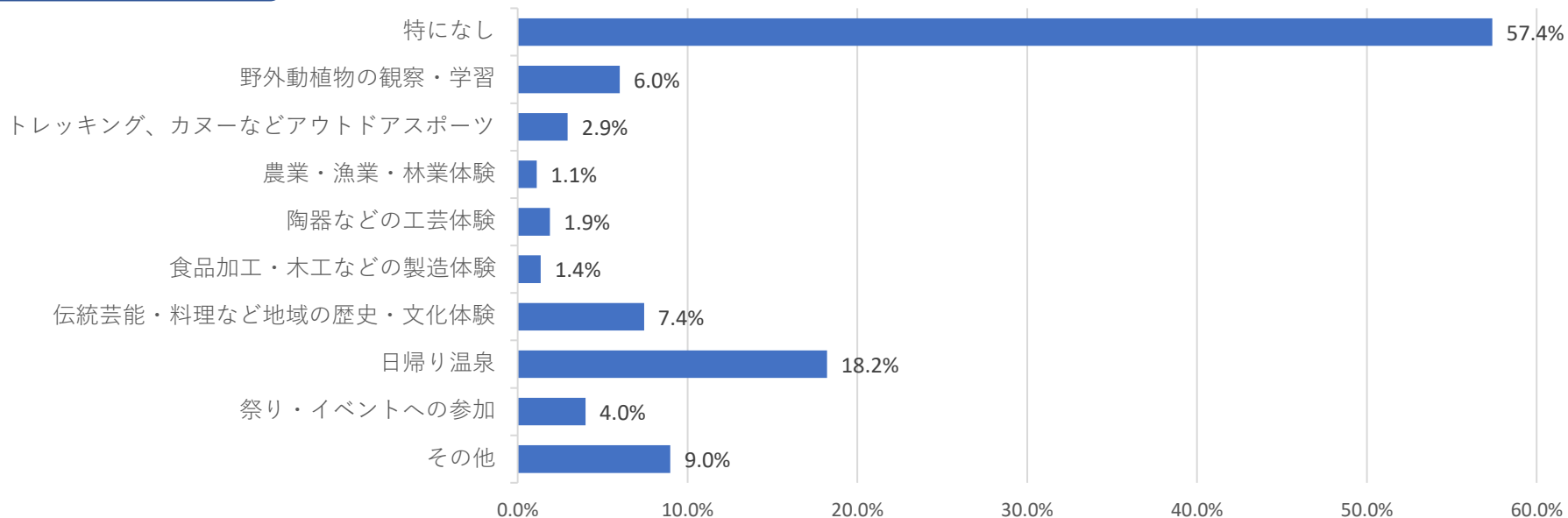
旅行目的

N=2,581



体験したコンテンツ

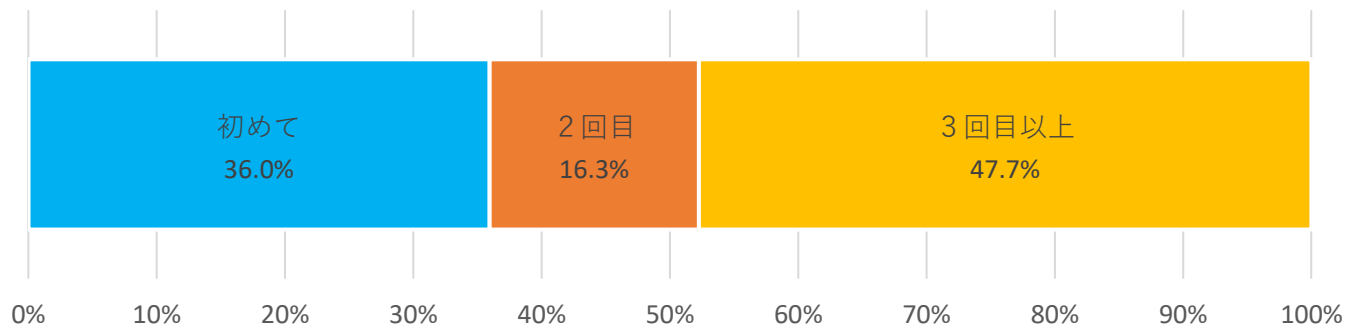
N=2,581



リピート率・消費額①

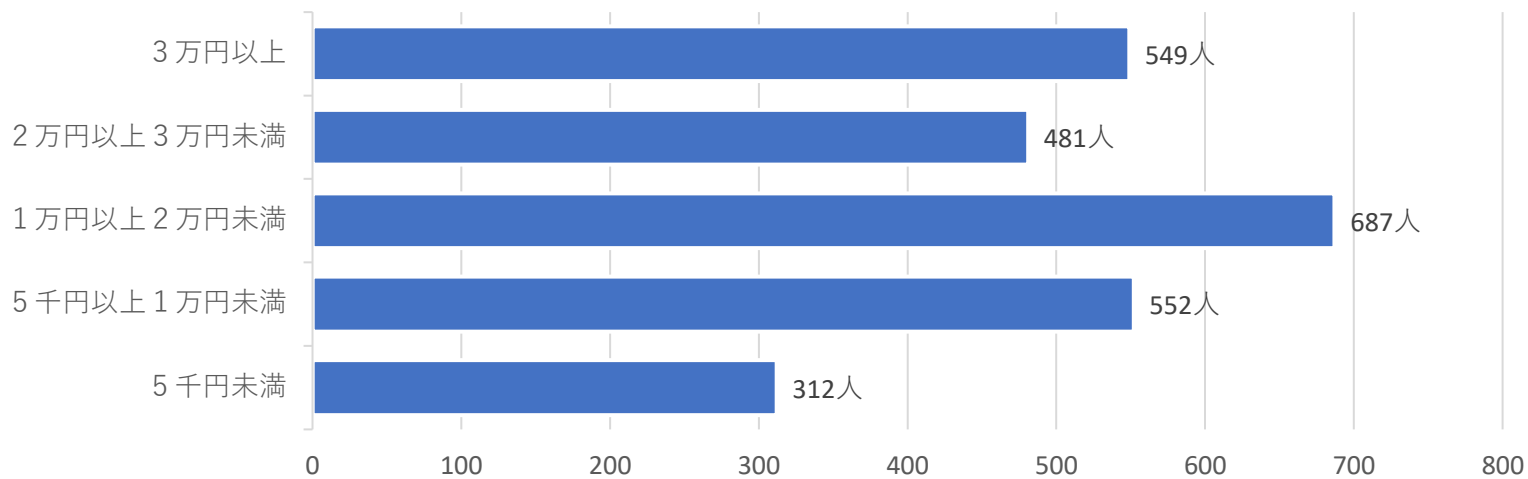


リピート率



N=2,581

地域内での消費額

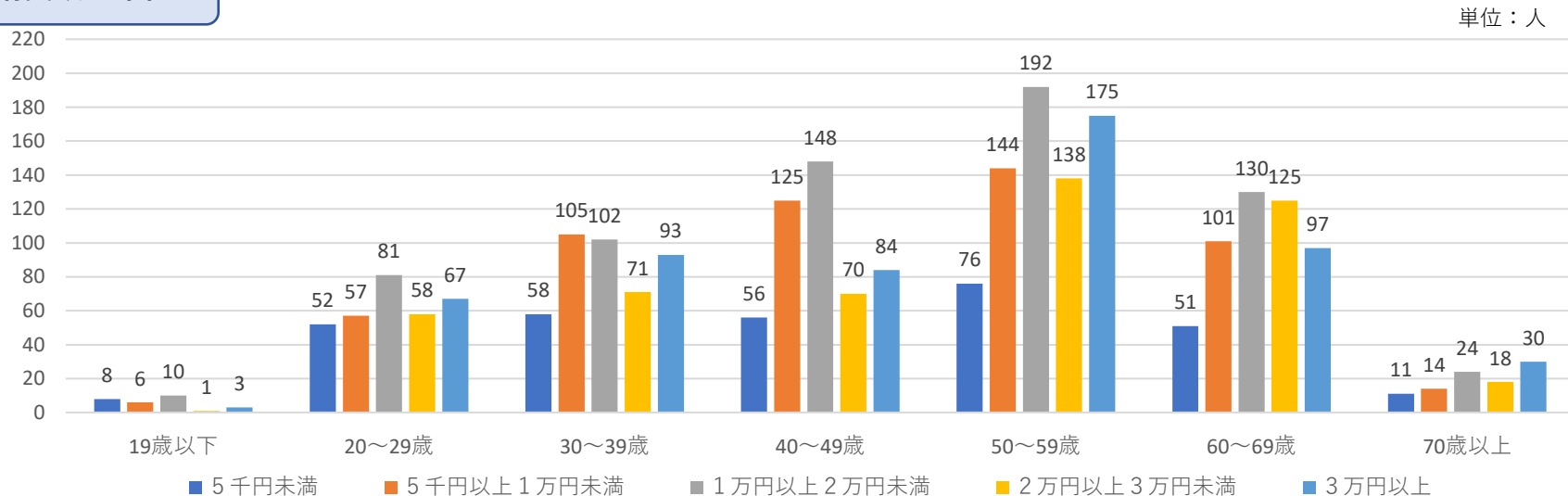


N=2,581

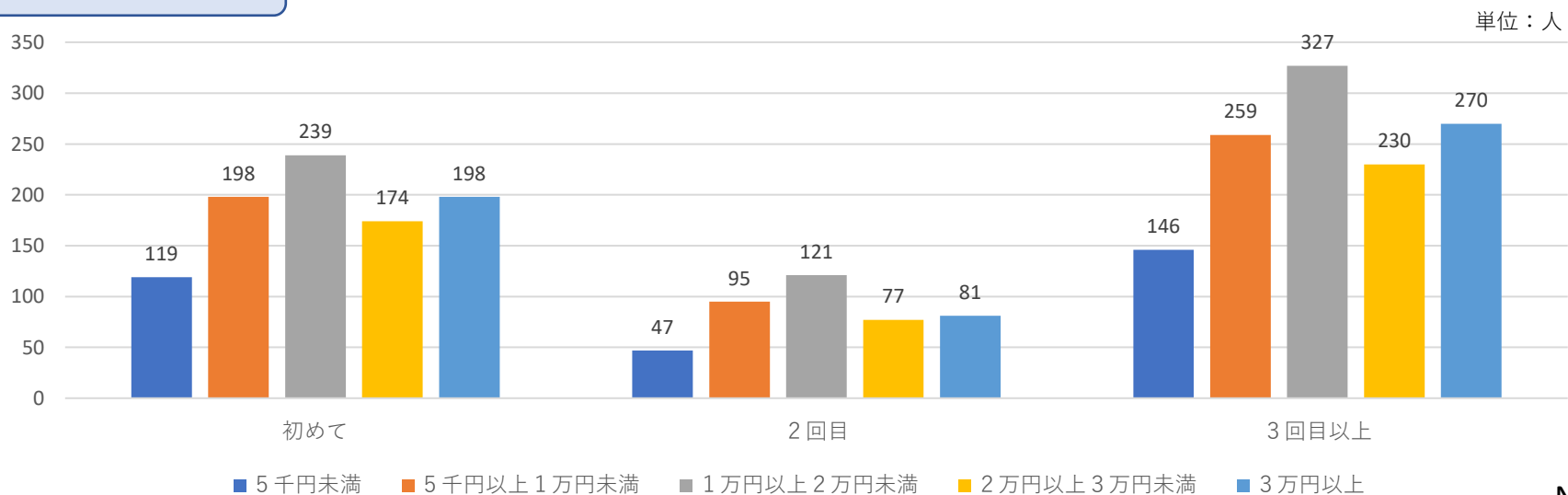
リピート率・消費額②



消費額×年代



消費額×リピート率



N=2,581

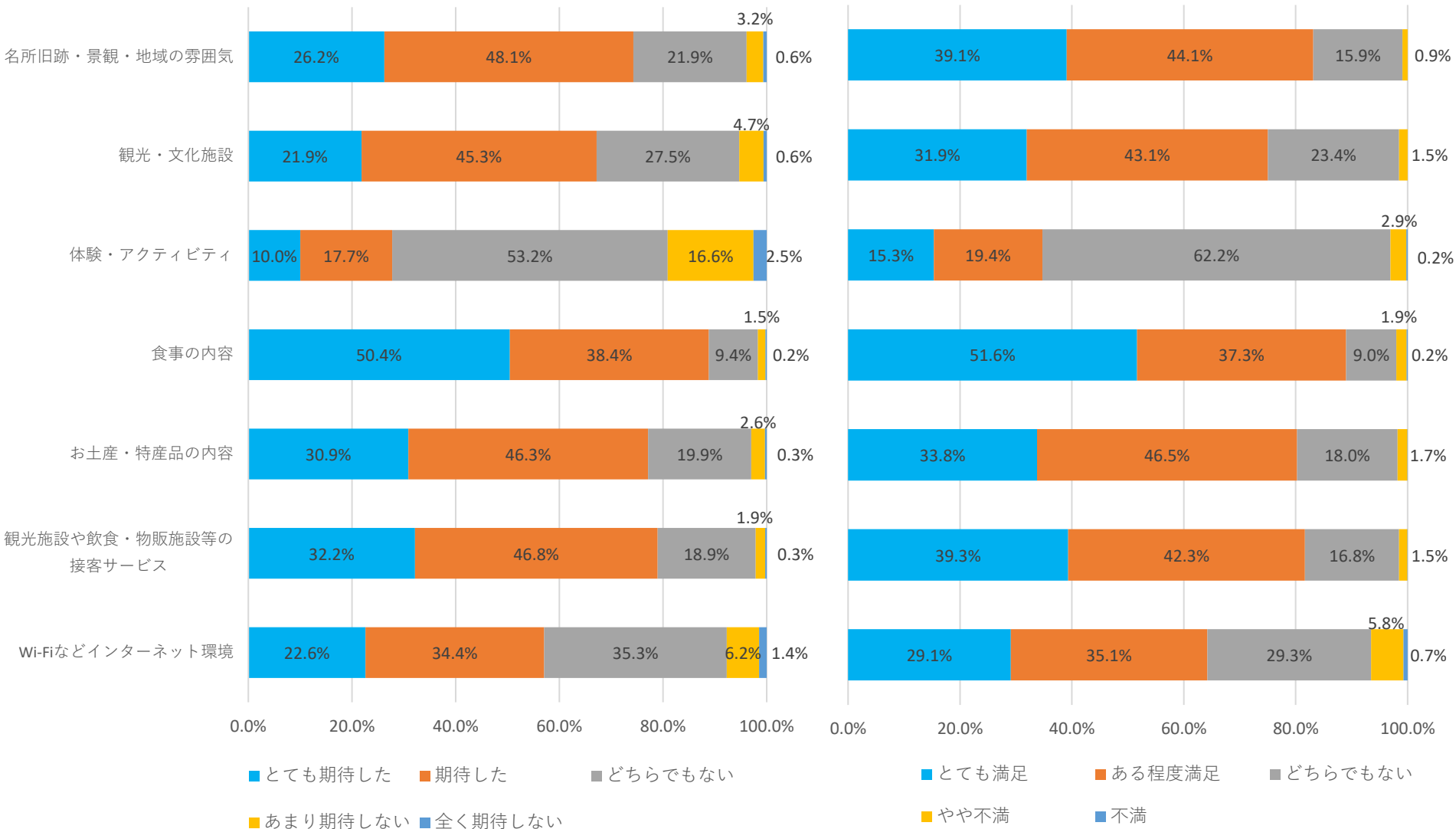
N=2,581

地域への期待度・地域の満足度



期待度

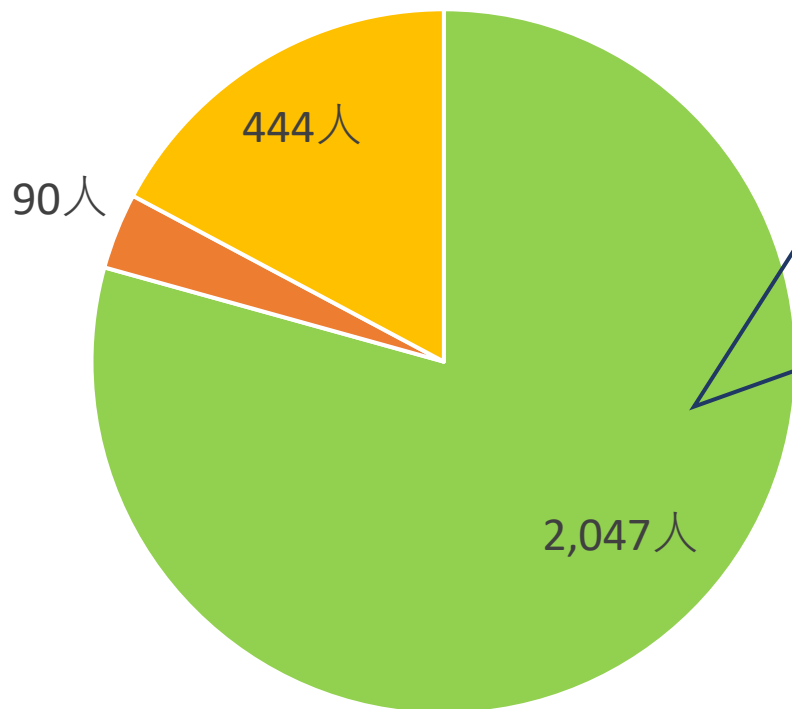
満足度



宿泊の有無



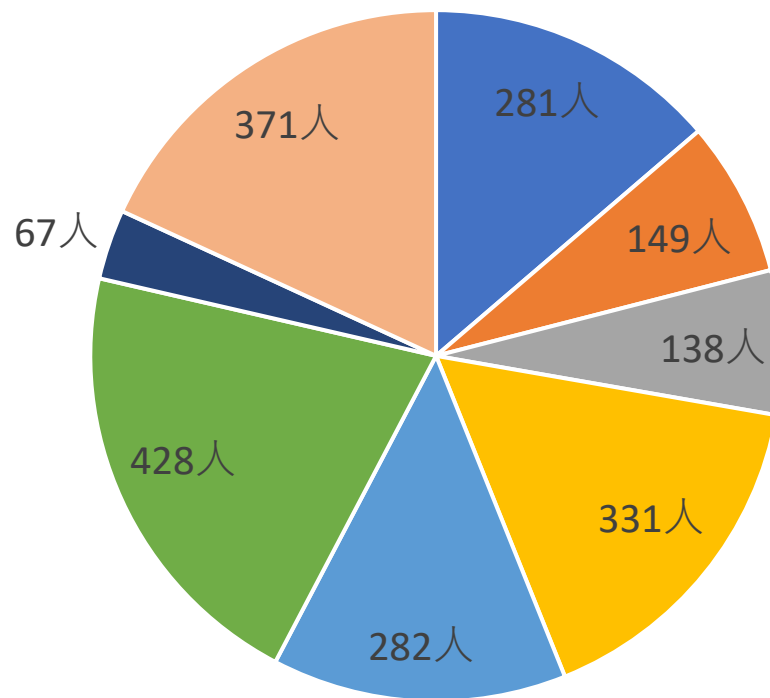
宿泊の有無



- 宿泊あり (回答地域での宿泊を含む)
- 宿泊あり (回答地域では宿泊しない)
- 宿泊なし (日帰り旅行)

N=2,581

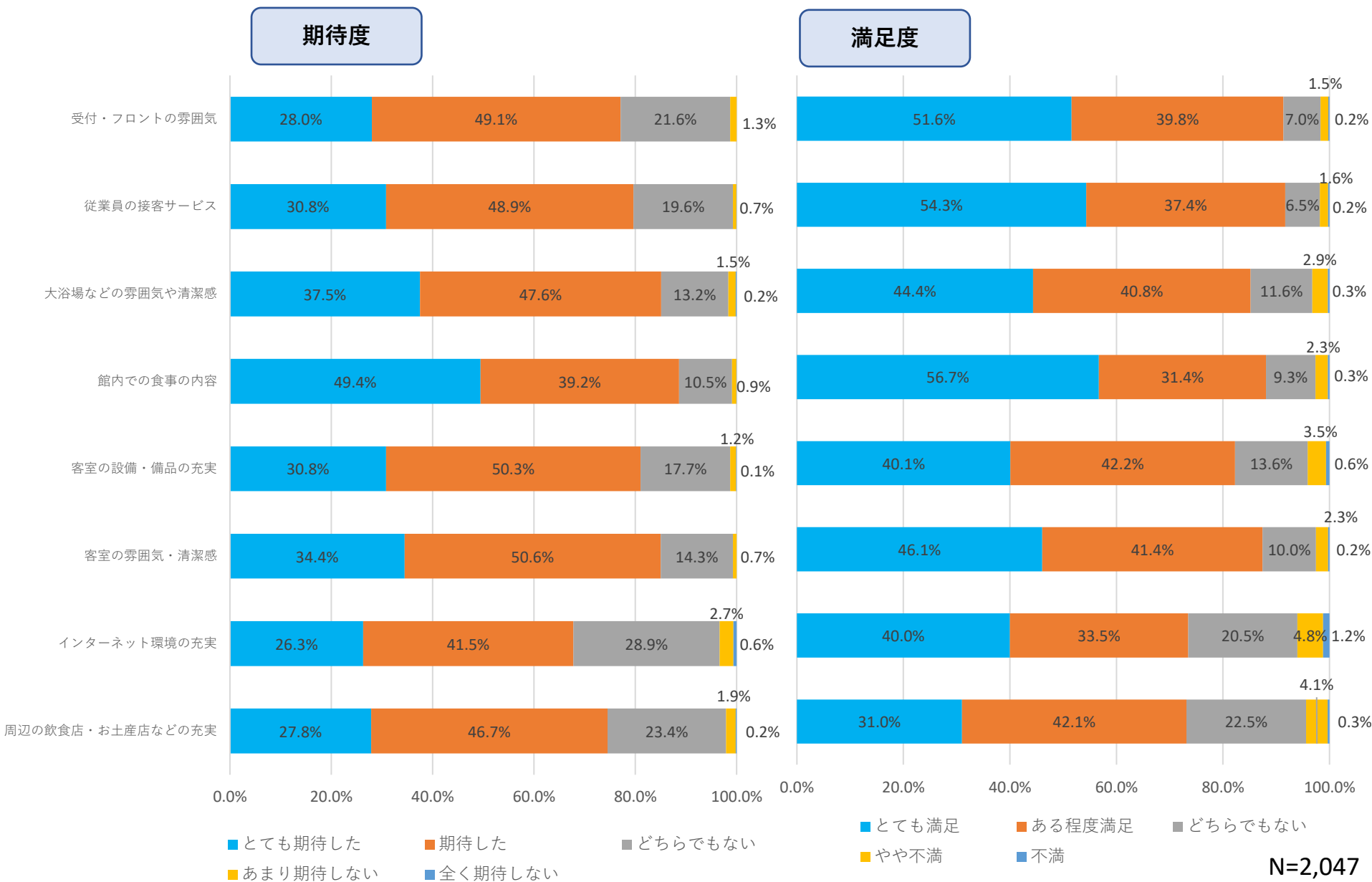
宿泊場所



- 有馬温泉
- 宝塚市
- 姫路市
- 赤穂市
- 城崎温泉
- 湯村温泉
- 丹波篠山市
- 淡路島

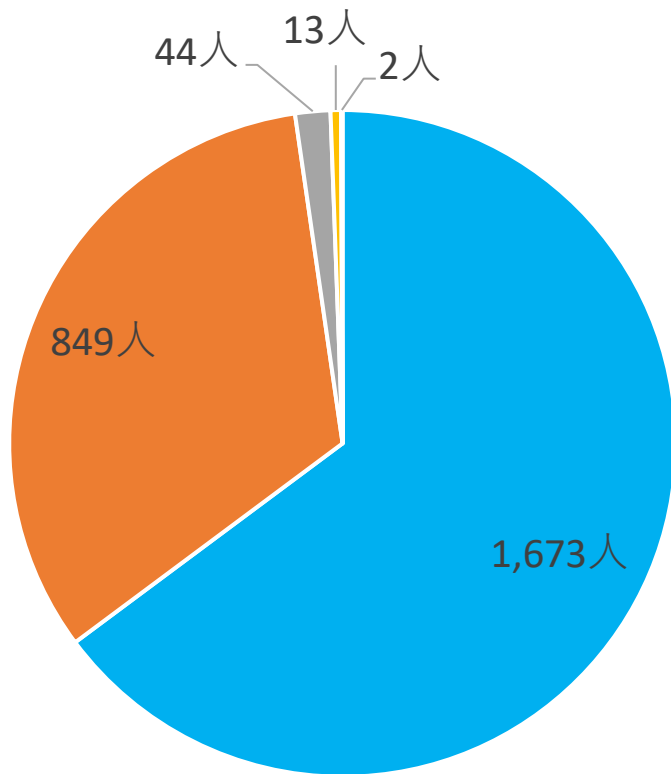
N=2,047

宿泊施設への期待度・宿泊施設の満足度





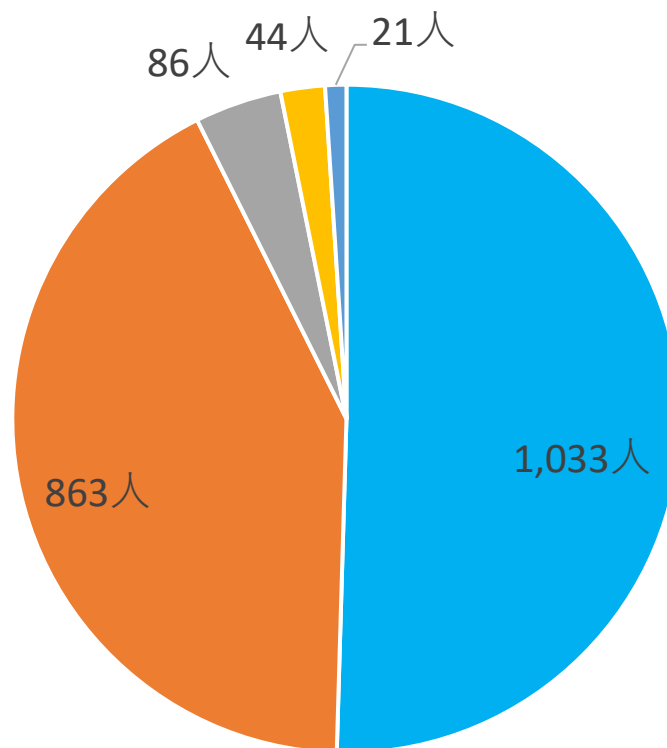
地域への再訪意向



- ぜひまた訪ねたい
- 機会があれば訪ねたい
- どちらでもない
- あまり訪ねようとは思わない
- 訪ねたくない

N=2,581

宿泊施設への再訪意向



- ぜひ利用したい
- 機会があれば利用したい
- どちらでもない
- あまり利用しようとは思わない
- 利用しない

N=2,047